

中小企業成長支援ファンド
「テクノロジーベンチャーズ6号投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：宮川正 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業（中小企業成長支援ファンド）において、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社及びテクノロジーベンチャーズ6号パートナー有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として40億円を出資することで合意し、組合契約を締結いたしました。

『テクノロジーベンチャーズ6号投資事業有限責任組合』は、IT・ディープテックを核に新たな成長が見込める領域を対象とし、主にアーリーステージにおいて積極的にリード投資を行います。伊藤忠グループのネットワークや支援ノウハウを最大限活用した多面的な経営支援により、社会を変革し得るスタートアップの事業成長を支えるファンドです。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等有する支援ツール等を最大限に活用しながら、出資先ファンドと連携しつつ中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

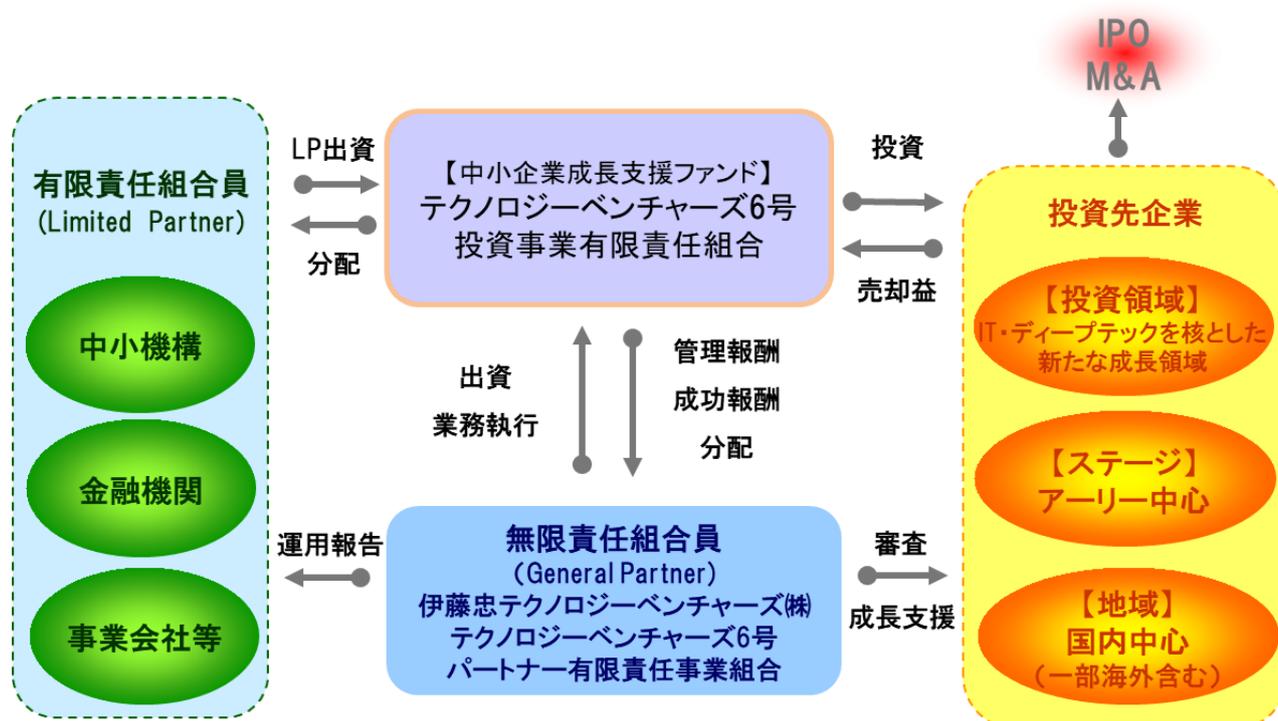
<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：石田、岡）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆「テクノロジーベンチャーズ6号投資事業有限責任組合」の概要

- 「テクノロジーベンチャーズ6号投資事業有限責任組合」は、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社及びテクノロジーベンチャーズ6号パートナー有限責任事業組合を無限責任組合員として設立された投資ファンドです。
- 運営事業体である伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社は、パートナーである中野 慎三氏、阿部 剛士氏、小川 剛氏を中心に構成され、2000年の設立以来、IT分野を中心に国内外の成長著しいスタートアップに投資を行い、多面的な経営支援を積極的に行っているハンズオン型のベンチャーキャピタルです。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド出資実績

https://www.smrj.go.jp/supporter/fund_investment/fbrion0000004bys-att/supporter_fund_investment_2023fy.pdf